

令和3年度 子どもゆめ基金20周年記念事業
親子で挑戦 秋のカヌーツーリング

1 事業概要

小学5年生以上の児童生徒とその保護者を対象に野外炊飯や、カヌー体験（平水版・ツーリング）を行った。野外炊飯では親子や参加者同士で協力してカレーを作り、カヌー体験では1日目（平水版）に基本的な操作方法を学び、2日目には秋の自然や大洲の歴史的建造物を楽しみながらツーリングを行った。

2 事業の目的（ねらい）

体験活動を通して、自然の素晴らしさ・体験活動の楽しさを実感する。また、親子のふれあいや参加者相互のふれあいを通して、豊かな心を育むことを目的とする。

3 企画のポイント

カヌーツーリングの実施においては安全面における万全の体制を整えるため、大洲市カヌー協会に依頼し、先導や参加者のサポート等をしていただいた。また、ツーリングをしながら周囲の自然の様子や川から見える建築物を楽しむことができるよう、コースの設定を行った。

参加者一人一人が決めたキャンプネーム、ツーリングの目標を書いた紙をホワイトボードに貼り、参加者同士で共有し、コミュニケーションのきっかけになるようにした。

4 主催 独立行政法人国立大洲青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

5 期 日 令和3年10月23日（土）～10月24日（日）

6 対 象 小学5年生以上の児童生徒とその保護者

8 参加人数 小学生16名 中学生5名 保護者18名 計39名

9 参加費 大人（中学生以上） 1,650円 子供 1,640円

10 日 程	23日（土）	24日（日）
	13:00 受付	6:30 起床
	13:30 開講式	7:25 検温
	14:00 カヌー体験「平水版」	7:30 朝食・清掃
	16:30 着替えなど	9:00 カヌー体験「ロープレスキュー」
	17:00 検温・体調確認	「ツーリング」
	17:30 野外炊飯	12:00 閉講式
	20:30 入浴準備・自由時間	
	22:00 就寝準備・就寝	

11 活動内容

【1日目】

「カヌー体験（平水版）」

カヌー研修場にてカヌー体験を行った。基本的な操作方法や緊急時の対応方法を確認し、初めは緊張していた参加者もいたが、徐々に操作に慣れて、楽しみながら取り組んでいた。



「野外炊飯」

親子でコミュニケーションをとりながら、笑顔でカレーを作っていた。他にも家族同士で通っている学校や学校行事のことなどを楽しく話す姿が見られた。



【2日目】

「カヌー体験（ツーリング）」

カヌー研修場を出発し、大洲市の緑地公園を目指してツーリングを行った。水の冷たさや風の心地よさを感じて自然を楽しみながらゆったりと川を下った。ゴール後は笑顔で話す親子の姿が多く見られた。



12 参加者の声

事業後アンケート結果（小学生：16名 中学生：5名 保護者：18名）

*満足：89.7% *やや満足：10.3% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

○自由記述欄

- ・今度は（カヌーツーリングの）ロング編にも挑戦したい。
- ・親子で山登りをやってみたい。
- ・今度はクライミングをやってみたい。
- ・自然を肌で感じる事ができた。
- ・自然が豊富だった。 など

13 事業の成果

カヌーツーリングや野外炊飯を通して、体験活動への意欲や他の体験活動への興味関心が高まったと思われる。また、自然の素晴らしさを実感できた参加者が多かったことがアンケート結果に表れており、秋の自然とカヌーツーリングの良さを生かす事業となった。閉講式終了後には家族間で楽しく思い出を話したりお互いに記念写真を撮ったりしている姿が見られた。また、直接楽しかった感想を伝えてくれる参加者もあり、充実した時間を過ごせたようであった。

これらのことから本事業の目的を達成することができたものとする。

14 事業の課題

体調不良者が複数発生した場合やけが人が出た場合など、対応できる職員数が限られていた。人員的に余裕をもった計画をし、安全管理に努めていきたい。

（担当：企画指導専門職 高木 啓吾）